

富士市 松野こども園

今回は、富士市松野地区にあります松野こども園を訪問させていただきました。大きな工場が点在する山間の道をさらに上ると、きれいな園舎が見えてきました。小学校と中学校を道路に挟んで隣接する園舎が松野こども園です。松野地区の



富士川第二幼稚園と松千代保育園の機能を統合し、公立としては市内初となる幼保連携型認定こども園「松野こども園」が平成二十八年四月に開園しました。

旧富士川町は、国指定重要文化財の「古谿荘（こけいそう）」や富士山に鳥居を奉納する市指定無形民俗文化財の「岩淵鳥居講」など、世代を超えて、歴史や文化が長く受け継がれています。雄大な自然に囲まれた温かい地域性も特徴の一つです。

定員は、一六五名（二号七五名 一、三号九〇名）通常保育以外にも一時保育や障害児保育、子育て支援センター「ルルン」の併設など地域の子育ての拠点として事業を展開

園長 鈴木かおり先生

しています。一階が乳児室と三歳児室、二階に四、五歳児室とホールがあります。

来園してまず、驚いたのが、園舎の設計です。二階建てになっており園舎はゆるやかな弧を描きます。空間をうまく使い、廊下も直線的で狭い印象ではなく奥に行けば行くほど広く感じました、開放感も感じました。部屋の中では、天井がとても高いのも印象的でした。一階の乳児室には保護者が直接部屋に入らずに前室で着替えや仕度ができる様に各自のロッカーが整備されていました。

恵まれた環境は園舎だけではありません。園舎のすぐ横には、地域の方の畑がいくつもあり、また園の敷地にも畑を作ったそうです。誰が育てているのですか？と尋ねたところ、

先生たちはもちろんですが、地域の方も手伝ってくださいます。と、園長先生。

道路を挟んで向かいに中学校その隣が小学校ということ、こども園のクリスマス会では毎年小学校の校長



先生と中学校の校長先生が交代でサンタさんをしてくれているとの事でした。定期的に小学校、中学校との懇談の場もあるということ、小学校との接続以上の幼小中接続が松野こども園では行われていました。

園長先生に「日々保育をしている中で、一番大事にしているもの何ですか？」と質問したところ、「子どもが健やかに育つためには何が必要なのか考えること、施設環境や地域の環境も大事だが、それより、人的環境が子どもたちにとって大きな役割を占めるもので、地域の子どもたちが毎日生き生きと生活できるように、日々保育をしています。」

取材のなかで、この地域のおよそ八割の子どもたちは松野こども園に通うとの話もありました。一級水系富士川と雄大な富士山が見守る松野こども園では、地域と園、保護者が一体となりまたさらに、小中学校との連携も行っている環境は本当に理想的であると感じました。



最後に、年末のお忙しい中、快く取材を受けて頂き、園長先生はじめ職員の皆様には心よりお礼申し上げます。有難うございました。